

令和 元年 9月 7日  
綾歌郡(かがわ宇宙教育推進協議会)  
申請者 大野 憲三

## 企画名 松楠会杯かがわ水ロケット甲子園 2019

小学校低学年などの児童に、広く科学・技術に主体的に接する機会を持つことはそれほど多くはない。この企画は、かがわ宇宙教育推進協議会の協力の下、子供達の関心を引きやすい、宇宙やロケットなどの知識を通して、子供達及び大人の科学リテラシーの育成を目的としたものである。また親子共同の作業や、親子共々が積極的に参加できるように競技会方式として、飛距離競技、及び定点競技の2つの競技を行った。各競技の成績優秀者に松楠会杯としてトロフィー、賞状を実行委員会大野憲三名で出した。香川県教育委員会・高松市教育委員会及び新聞社・放送局等マスコミ7社の後援をいただいた。読売新聞8月18日付け記事として掲載された。文末に4月27日に開催した、GW水ロケット大会についても報告をする。

募集対象:高松市立小学校及び教育学部附属小学校にチラシ23400枚を配布(参加者多数を予想して限定)

会場:香川県総合運動公園多目的広場

日時:令和元年8月17日(土) 午前9:00受付～午後4時、表彰式、解散

参加登録証発行者、小学生68名、中学生1名その他保護者82名、指導者13名(応募者計78名、保護者等を含む応募者164名)、当日欠席者7名、

- ① 開会式 及び参加者に対する注意事項の伝達後、水ロケットの製作 相撲場を借りて作製法の指導及び作製に当たっての注意点の伝達、製作指導、出来た人からグラウンドにて試射してみる。飛距離用の空気圧は6気圧とした。
- ② 昼食休憩後、ロケットの改良をしながら飛距離競技、定点競技は、40m前方の旗を目標に、各自空気圧、水量等の調整を行い競技。それぞれ2回ずつ行い、記録の良い方を採用した。
- ③ 表彰式、飛距離競技:優勝(トロフィー及び賞状)飛距離108m, 2位(賞状)104m, 3位(賞状)101m,  
定点競技:優勝(トロフィー及び賞状)1.7m,2位(同上)2.9m,3位(同上)3.4m, 優秀賞(賞状)3.4m。
- ④ 参加者アンケートから:親子で創意工夫の議論が出来て楽しかった(13人)、来年も参加したい(12人)、宇宙関係の知識を今後も増やしていきたいとの意見多数。この3年間の間に次第に水ロケット甲子園の存在が認知されつつあるのを感じた。香川県における水ロケットを通じた科学教育に対して松楠会の貢献は年々大きくなりつつある。

### GWかがわ水ロケット大会について

長いGW中の子供の活動支援のため急遽開催、宣伝期間2週間(近辺のコミュニティ、四国新聞等)

日時:平成31年4月29日 10時～15時、 会場:香川県総合運動公園多目的広場

参加者12人、保護者7人、スタッフ6人、内容は上記甲子園とほぼ同じ、

当日看板に共催:松楠会の名称を使用、募集段階で名称使用ができればもっと集まったとの、いしま側の意見あり。



左上:開会式風景、発射台のセッティング中

右上:ロケットの製作風景(休憩中)、親子で共同作業

左:表彰状を貰った親子、看板は強風のたためテントの後側に